

選代表進民 保守系そろそろわぬ足並み 一本化巡り思惑交錯

9月に予定される民進党代表選を巡り、前原誠司・元外相や細野豪志・元環境相ら保守系議員の動向が焦点となっている。岡田代表の対抗馬を擁立する方針では一致するものの、それぞれが抱える事情もあり、「候補者の一本化」は一足飛びに実現しそうもない。

細野氏は22日、興石東参院副議長と国会内で会談した。25日の参院議員の任期切れに伴い引退する興石氏へのあいさつと名目だが、代表選につ

いても意見交換した模様だ。細野氏はかねて、基本政策で溝がある共産党との選挙協力に否定的だった。周囲には「次期衆院選でも共産党と共闘すれば、二度と政権交代できない」と漏らしており、グループ内からも代表選出馬を求める意見が上がる。党内にある「世代交代を図るべきだ」（関係者）との意見も細野氏に追い風だ。

出馬を見送り、細野氏の支援に回った経緯から、「今回は前原さんの番だ」（周辺）の思いがあるようだ。前原、細野両氏は20日に国会内で短時間会談したが、結論は出なかった。今後は、旧維新の党グループや馬淵澄夫・特命副幹事長らと意見交換して調整を進める方針だが、難航する可能性もある。

同じく保守系の長島昭久・元防衛副大臣も出馬に意欲的とされる。22日付の自身のブログでは、党内に憲

法改正の必要性を認める議員がいることに言及した上で、「参院選で（改憲発議に必要な）『3分の2阻止』と大書したポスターを作成して有権者をおおった党執行部に大いに反省を求め

◆民進党代表選を巡る前原、細野、長島3氏の事情と思惑

前原 誠司 元外相	2015年の民主党代表選は細野氏の支援に回る。周辺は「今回は前原氏の番」
細野 豪志 元環境相	グループ内は主戦論強く。岡田代表や前原氏らの世代から若返り求める声も
長島 昭久 元防衛副大臣	「民共」路線の転換を強く訴え。自ら出馬し、議論リードする構えも

る」と書き込んだ。「政権準備政党としての真のリーダーシップが求められる。その先頭に立つ覚悟だ」ともつづり、自ら代表選に出馬する考えを示唆した。